

板塀と屋台で屋台塀



8月の新屋七夕祭りで屋台デビュー

表町通りに増えつつある空き地。このままだと景観的に寂しいので、空き地の道路沿いに板塀の設置を計画。まずは味噌・醤油の老舗醸造店「森九商店」の隣に塀を作り、8月の新屋七夕と呼ばれる表町通りのお祭りのときに、板塀と一体化した屋台「屋台塀」を出店しました。



新屋を勝手にライトアップ

今年の雄物川花火大会や新屋七夕で大森山の電波塔がライトアップされたのをこ存じですか。照らしたのは、町の隠れたシンボルを大型ライトで勝手に照らす活動をしている、美術工芸短大の学生サークル「勝手にライトアップ部」です。「対象を効果的に照らすため、日々練習に励んでいます。新屋のイベントにも協力しています」と部長の石塚元樹さん。表町通りの力強いサポーターです。
<http://arayaomemachi.web.fc2.com/about.html>

新屋の町に溶け込むアトリエ&カフェ **地図**

成わなり場にいらっしやい



「おいしいコーヒーをどうぞ」
 (左が石田さん)

活性化推進委員会と美術工芸短大卒業生たちが協力し、12月未までの限定で、空き店舗にアトリエをつくりました。人が集って輪になるたまり場をめざし、このアトリエは「わなり場」と命名。小さなカフェコーナーもあります。飲食代は1円以上の寄付金制！「新屋の湧き水と昔ながらの町並みを堪能した後の休憩に寄ってください」と、管理者の石田敬太郎さんが、長寿の泉の湧き水を使ったコーヒーを用意して待っています。

営業時間 / 午前10時～午後7時
 定休日 / 土・日・月曜日
 駐車場あり tel(853)9432



店内には美短卒業生の作品を展示

成わなり場の陶芸教室

美術工芸短大で教務補助をしている大倉昌也さんを講師に迎え、生け花などに使う水盆を作ります。先着6人。全8回コースですが、初日以外は欠席、途中帰宅しても構いません。汚れてもよい服装で参加してください。



大倉先生が丁寧に指導します

対象 初心者～中級者 **受講料** 6,000円(材料費含む)

日程
 12月1日(土)=全体説明・成形 2日(日)=成形・削り・化粧掛け
 7日(金)=窯入れ・あぶり 8日(土)=素焼き 10日(月)=窯出し・釉掛け
 14日(金)=窯入れ・あぶり 15日(土)=本焼き 17日(月)=窯出し・削り

時間 午後1時～4時 午後6時～8時 午前9時～午後4時

申し込み 11月5日(月)午前9時から、新屋表町通り活性化推進委員会
 tel(828)6535(秋田商工会議所新屋支所内)

今号の表紙写真

今号の表紙は茨島七丁目の門間さんのご家族。98歳のキヨエさん(前列中央)と娘のケイさん夫婦が暮らす家に、秋田を離れて久しい孫の富紀子さん、英理子さん、ひ孫の桂子さん夫婦、柳子さん夫婦、弥生さん、玄孫(やしや)この真子ちゃん、美羽ちゃんが、国体期間中に集まりました。「5世代が並んだ写真を撮るのが夢でした」と話す静岡県在住の英理子さんの願いも叶い、幸せいっぱいの写真になりました。

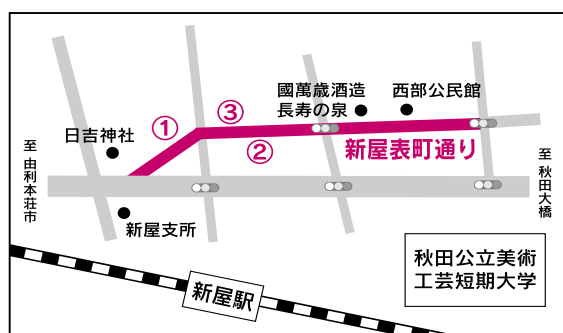
地域のみなさんが 新屋の魅力を いかしたまちづくり 新屋表町 通り



歴史的建物と湧き水が調和した町並み(國萬歳酒造)

国登録有形文化財の指定を受ける歴史的建築物と良質な湧き水が点在する「新屋表町通り」。

この二つの魅力を生かしたまちづくりのさまざまな取り組みが、地域のみなさんで結成した「新屋表町通り活性化推進委員会」によって、財団などの助成事業を活用しながら進められています。



新屋湧水広場整備プロジェクト 地図

湧き水潤う広場づくり

新屋表町通り活性化推進委員会は、新屋を代表するイメージのひとつ「湧き水」を生かし、「愛宕下お地蔵湧水の里」として親しまれている場所に、周辺の景観に調和した広場をつくることにしました。

以前から流れている湧き水は飲み水に適していないので、まずは湧き水の水源から新鮮な水をくみ上げるボーリング工事を行い、10月末に手押しポンプを設置しました。現在、くみ上げた水を飲み水として提供できるかどうか水質を検査しているところです。



広場全体の整備は来年度以降の予定です



みんな“ばか”になって面白くやろう

佐々木長心さん(新屋商店会)

通りに空き店舗が増え、何とかしなければと思っていました。委員会は通りに人を増やすことを第一に考えていますが、増えた人を客にできるかどうかは、商売人の腕の見せどころです(笑)。

委員長である美術工芸短大の石垣先生に「誰かが“ばか”になって活動を引っ張らないと」と言われ、今は私がばかになっているいろいろ提案しています。これからもっと住民を巻き込み、みんながばかになって通りを面白くしていきますよ。

表町通りが好き...委員の思い

歓迎してくれた 表町通りの力になりたい

中川希美さん、工藤一則さん
(訪問介護やさしい手ももさだ店)



昨年表町に出店し、地域とのつながりを求めて推進委員会に参加したところ、「空き店舗に入ってくれて良かった」と歓迎され、ほっとしました。委員会はさまざまな意見を言いやすい雰囲気なので、これからもっと面白くなりそうです。通りを明るく盛り上げていくのに少しでも力になればと思っています。

